



2019年度農芸化学技術賞 受賞

“緑の香り”で農作物を高温から守る資材開発 (神戸大との共同研究)

日本農芸化学会2019年度大会(3月24~27日開催)受賞内容のご報告



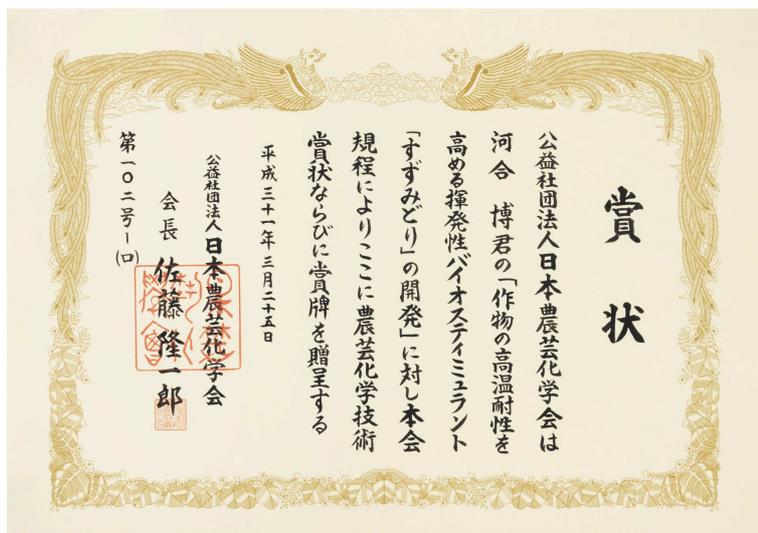
この度、(株)ファイトクローム(本社 東京、代表 内田啓祐)は、公益社団法人日本農芸化学会から「2019年度農芸化学技術賞」を受賞致しました。農業分野の本賞受賞は、2008年度の住友化学株式会社(農薬)以来11年ぶりとなります。

表題：作物の高温耐性を高める揮発性バイオスティミュラント「すずみどり」の開発

受賞者：山内 靖雄(やまうち やすお) 神戸大学大学院 農学研究科 植物機能化学
：河合 博(かわい ひろし) 株式会社ファイトクローム

本受賞は2008年より神戸大学と開始した植物の高温耐性に関する共同研究、および2018年に本格販売を開始した商品名「すずみどり」の製品化が評価されたものです。

今後も当社は、植物本来の力に着目し、近年変化する様々な環境に対応出来る商品の開発を通じて、新しい価値を創造する農業を応援してまいります。



受賞講演(東京農業大学百周年記念講堂)



ファイトクローム 河合博

神戸大学 山内靖雄先生



懇親会(京王プラザホテル)

●「すずみどり」について

ヘキセナール(緑葉の香り成分)を使用し、温室内に吊るすだけの高温耐性付与資材。

10アール(1,000平米)あたり10~20パックで効果がおおよそ1ヶ月持続。

標準小売価格:約¥3,700(税別)10パック入袋



【商品本体:10パック入り】



【錠剤入りパック】

※パック両端を切って使用



【圃場吊り下げイメージ】

●受賞概要

地球温暖化の影響が懸念される中、植物の葉をつぶした時に出る緑の香り成分(2-ヘキセナールおよび類縁化合物)が、高温耐性を大きく向上させることを神戸大学との共同研究で明らかにし、揮発性の錠剤として商品化しました。

(Nature誌 Scientific Reports, Yamauchi他、特許第5608381号)

世界中で毎年のように高温による農作物の減収が報告される中、有効な対応策の開発は現場から切望されている大きな課題であり、本商品はこれらの高温対策に適用が可能です。

また、欧米で注目を浴びている「バイオスティミュラント」は、高温や乾燥、冷害などの環境ストレス耐性を向上させることにより、作物の生産性を上げる資材の総称で、肥料、農薬に次ぐ次世代の農業資材として期待されています。「すずみどり」は、2-ヘキセナールを有効成分とした世界初の高温耐性を高める揮発性バイオスティミュラントになります。

人間の疲労回復・ストレス軽減効果があることでも知られる緑の香り2-ヘキセナールは、植物の場合、0.01~0.001ppm程度の極微量で作用し、40℃以上の環境下でもしおれない、枯れない等の効果を示します。収量においてもトマトなどの果菜類、葉菜類、花卉類、水稲などの多くの作物で、収穫量が2割程度増収するなどの効果がこのたび確認されました。

●公益社団法人日本農芸化学会について

個人会員約10,000名、法人会員364企業・団体(2018年11月現在)であり、1924年に設立された学術団体。バイオサイエンス・バイオテクノロジーを中心とする多彩な領域の研究者、技術者、学生、団体等によって構成される国内最大級の学会。

●農芸化学技術賞について

農芸化学技術賞は、農芸化学分野において注目すべき技術的業績をあげた技術・商品に与えられる賞であり、年間2~4件程度が受賞。(1968年より表彰開始)

《過去の主な受賞例》

1993年:アサヒスーパードライの開発(アサヒビール)、

1998年:トレハロースの製造法(林原)、

2008年:セサミンの機能解明と健康食品の開発(サントリー)、

2014年:機能性ヨーグルトの開発「R-1ヨーグルト」(明治) 等

http://www.jsbba.or.jp/about/awards/about_awards_tech.html

本件に関するお問い合わせ

TEL:03-4316-4920、 FAX:03-4316-4921

株式会社ファイトクローム 瀬戸 Email:seto@phyto.jp